

2.2 ひとり親世帯等の悩み等

(1) 子どもについての悩み

母子世帯では、「悩みがある」との回答が 802,200世帯、65.5 % (前回調査 66.9 %)、「特に悩みはない」との回答が 34.5 % となっており、前回調査より悩みがある世帯がやや減少している。

父子世帯では、「悩みがある」との回答が 127,000世帯、73.1 % (前回調査 65.7 %)、「特に悩みはない」との回答が 26.9 % となっており、前回調査と比べて悩みがある世帯が増加している。

悩みの内容については、母子世帯では、子どもの生別を問わず「教育・進学」が最も多く、次いで「しつけ」となっている。

父子世帯では、男の子については「教育・進学」が最も多く、次いで「食事・栄養」となっており、女の子については「しつけ」が最も多く、次いで「教育・進学」となっている。母子世帯との悩みの違いが見られるほか、子どもの性別においても悩みの内訳の割合が異なっている。

表 2.2 - (1) - 1 母子世帯の母が抱える子どもについての悩みの内訳

区 分	総 数	教育・ 進学	しつけ	就 職	健 康	非 行	食事・ 栄養	結婚 問題	衣服・ 身のまわり	その他
平成10年	千世帯 638.7 (100.0)	(41.4)	(18.7)	(14.7)	(8.8)	(2.4)	(2.4)	(2.3)	(0.9)	(8.4)
平成15年	千世帯 802.2									
男の子	(100.0)	(50.3)	(21.8)	(11.0)	(4.9)	(3.7)	(3.3)	(0.1)	(0.3)	(4.6)
女の子	(100.0)	(55.9)	(17.1)	(8.9)	(7.3)	(2.0)	(2.3)	(1.9)	(0.5)	(4.2)

(注) 今回の調査から子どもの性別ごとの複数回答とした。

表 2.2 - (1) - 2 父子世帯の父が抱える子どもについての悩みの内訳

区 分	総 数	教育・ 進学	しつけ	就 職	健 康	非 行	食事・ 栄養	結婚 問題	衣服・ 身のまわり	その他
平成10年	千世帯 107.4 (100.0)	(26.7)	(13.7)	(13.7)	(8.1)	(3.7)	(15.5)	(3.1)	(3.1)	(12.4)
平成15年	千世帯 127.0									
男の子	(100.0)	(40.9)	(16.1)	(9.7)	(5.4)	(1.1)	(21.5)	(3.2)	(2.2)	(-)
女の子	(100.0)	(25.8)	(28.8)	(12.1)	(15.2)	(3.0)	(10.6)	(-)	(1.5)	(3.0)

(注) 今回の調査から子どもの性別ごとの複数回答とした。

(2) ひとり親等の困っていること

母子世帯では、「困っていることがある」との回答が 975,900世帯、81.3 % (前回調査 74.6 %)、「特
にない」との回答が 18.7 %となっている。

父子世帯では、「困っていることがある」との回答が 121,300世帯、72.6 % (前回調査 68.2 %)、「特
にない」との回答が 27.4 %となっている。

困っている内容については、母子世帯では「家計」が 43.7 %で最も多く、父子世帯では「家事」が
34.6 %で最も多くなっており、困っていることの内容の違いが見られる。

寡婦については、「困っていることがある」との回答が 667,300世帯、64.9 % (前回調査60.1 %)、
「特にない」との回答が 35.1 %となっており、悩みがある者が前回調査に比べ増加している。寡婦の悩
みでは「健康」が最も多い。

いずれの世帯でも、前回調査と比べて「家計」、「仕事」について困っていると回答したものの割合が
増加している。

表 2 2 - (2) ひとり親等本人が困っていることの内訳

区 分	総 数	家 計	仕 事	住 居	健 康	家 事	そ の 他
母子世帯	平成10年 千世帯 711.9(100.0)	(37.9)	(22.4)	(18.5)	(12.6)	(1.8)	(6.8)
	平成15年 千世帯 975.9(100.0)	(43.7)	(22.5)	(17.4)	(10.0)	(1.1)	(5.2)
父子世帯	平成10年 千世帯 111.4(100.0)	(19.7)	(11.4)	(12.6)	(15.6)	(34.1)	(6.6)
	平成15年 千世帯 121.3(100.0)	(31.5)	(14.2)	(5.5)	(8.7)	(34.6)	(5.5)
寡 婦	平成10年 千世帯 678.9(100.0)	(22.5)	(15.4)	(14.2)	(33.5)	(1.1)	(13.3)
	平成15年 千世帯 667.3(100.0)	(26.8)	(15.9)	(13.2)	(29.1)	(0.5)	(14.5)

(3) 相談相手について

ア 母子世帯で、「相談相手あり」と回答のあった世帯の割合は 80.7 %となっている。

父子世帯で、「相談相手あり」と回答のあった世帯の割合は 50.6 %となっており、母子世帯と比べて相談相手のいる割合が低い。

また、寡婦については、「相談相手あり」と回答のあった割合は 77.2 %となっている。

前回調査と比べて「相談相手なし」のうち「相談相手が欲しい」と回答のあった世帯の割合は、母子世帯は 76.0 %に増加しているが、父子世帯は 49.4 %に減少している。寡婦については 61.5 %に増加している。

イ 相談相手についてみると、いずれの世帯も「親族」が最も多いが、前回調査と比べて父子世帯についてはその割合が 12.1 %増加している。

「相談相手が欲しい者」のうち、困っていることの内訳をみると、母子世帯と寡婦は「家計」が最も多く、父子世帯は「家事」が最も多くなっている。

表 2 2 - (3) - 1 相談相手の有無

区 分	総 数	相談相手あり	相談相手なし	相談相手なしのうち	
				相談相手が欲しい	相談相手は必要ない
母子世帯	平成10年 千世帯 912.7(100.0)	(81.1)	(18.9)	(68.9)	(31.1)
	平成15年 千世帯 1,199.8(100.0)	(80.7)	(19.3)	(76.0)	(24.0)
父子世帯	平成10年 千世帯 151.4(100.0)	(56.8)	(43.2)	(53.1)	(46.9)
	平成15年 千世帯 160.5(100.0)	(50.6)	(49.4)	(49.4)	(50.6)
寡 婦	平成10年 千世帯 1,071.5(100.0)	(74.2)	(25.8)	(55.9)	(44.1)
	平成15年 千世帯 1,032.1(100.0)	(77.2)	(22.8)	(61.5)	(38.5)

表 2 2 - (3) - 2 相談相手の内訳

区 分	総 数	親 族	知人・隣人	母子自立 支援員等	公的機関	そ の 他
母子世帯	平成10年 千世帯 739.8 (100.0)	(65.0)	(30.1)	(0.9)	(0.9)	(3.1)
	平成15年 千世帯 967.9 (100.0)	(65.0)	(29.4)	(0.5)	(2.3)	(2.7)
父子世帯	平成10年 千世帯 86.0 (100.0)	(64.4)	(27.9)	(2.3)	(5.4)	(-)
	平成15年 千世帯 81.2 (100.0)	(76.5)	(22.4)	(-)	(1.2)	(-)
寡 婦	平成10年 千世帯 789.8 (100.0)	(77.4)	(18.1)	(1.1)	(0.8)	(2.6)
	平成15年 千世帯 796.3 (100.0)	(77.4)	(18.3)	(0.3)	(0.7)	(3.2)

表 2 2 - (3) - 3 相談相手が欲しい者の困っていることの内訳

区 分	総 数	家 計	仕 事	住 居	健 康	家 事	その他
母子世帯	平成10年 千世帯 109.5 (100.0)	(35.5)	(22.5)	(23.1)	(13.6)	(1.8)	(3.5)
	平成15年 千世帯 161.3 (100.0)	(45.9)	(18.6)	(20.2)	(12.6)	(-)	(2.7)
父子世帯	平成10年 千世帯 30.0 (100.0)	(20.0)	(15.6)	(8.9)	(11.1)	(40.0)	(4.4)
	平成15年 千世帯 33.4 (100.0)	(25.7)	(8.6)	(14.3)	(20.0)	(28.6)	(2.9)
寡 婦	平成10年 千世帯 135.3 (100.0)	(25.3)	(19.7)	(18.5)	(22.7)	(2.6)	(11.2)
	平成15年 千世帯 129.9 (100.0)	(32.9)	(17.8)	(14.4)	(24.7)	(1.4)	(8.9)